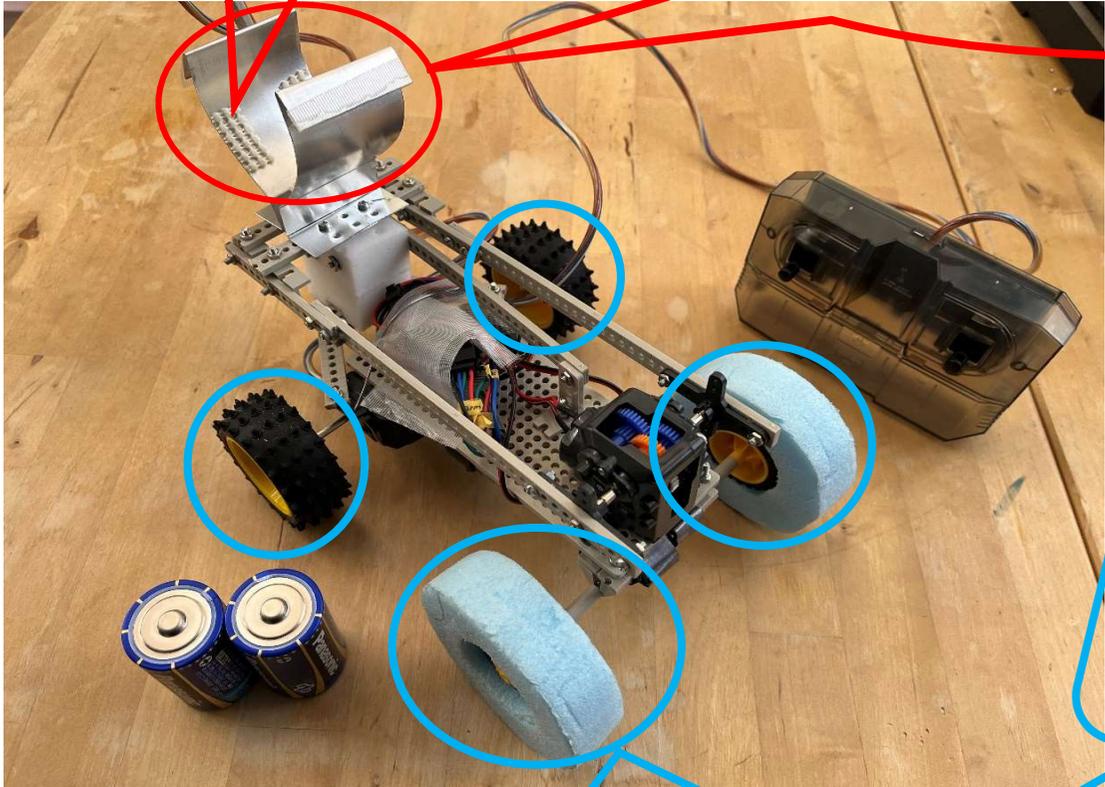


Appeal Point

滑り止めをつけて、多少の揺れもペットボトルを落とさず走行

アーム

アルミ板をペットボトルの形に添って曲げた。また、アルミ板の先端を少しルーズに曲げることで、多少のゆがみがあってもうまく挟み混むことが可能



その他

最適なギヤ比になるよう試行錯誤

少ない回転で距離を稼げるように、大きなタイヤを使用

バランスの調整
後方に重心が行き過ぎるので、前方に鉛板を巻き付け調整

全てにおいて無駄のない動作

タイヤ

素早く位置決め。同時に微調整も可能になり、より確実にペットボトルを掴むことが可能

後輪に強いグリップを持たせた軸として、前輪を滑らせることによって、細かい左右への転回を実現